



平成 24 年5月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ジアース
代 表 者 名 代表取締役社長 池添 吉則
(コード番号:8922 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 奥田 広志
電 話 番 号 06-6232-7770(代表)

特別損失の発生及び通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成24年3月期決算(平成23年4月1日から平成24年3月31日)において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成23年12月14日に公表いたしました通期連結業績予想と本日公表いたしました通期連結業績について、差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

当社は、平成 24 年3月期決算の状況を踏まえ、ソフトウェア等の投資額について、事業ごとに今後の販売計画を精査し、将来の回収可能性等を検討した結果、主に広告事業におけるソフトウェア及びサーバ類の器具備品に関して 231 百万円の減損損失が発生いたしました。

2. 通期業績予想と実績との差異について

(1) 平成 24 年 3 月期連結業績予想と実績との差異

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	110	▲ 460	▲ 510	▲ 520	▲ 846.73
今回発表予想(B)	103	▲ 545	▲ 595	▲ 802	▲1,243.83
増減額(B-A)	▲ 6	▲ 85	▲ 85	▲ 282	-
増減率(%)	▲ 5.87%	-	-	-	-
前期実績	287	▲1, 370	▲1, 417	▲1, 413	▲3,028.34

(2) 差異の理由

当社は、平成23年12月14日付「業績予想の修正に関するお知らせ」させて頂きましたとおり、「ジアース」サイトにおける地図上の不動産の位置情報と連動した広告スペースの提供と、不動産データベースの情報提供をパッケージ化したWeb上のサービス提供を大手不動産会社に注力した販売活動から、不動産会社の従業員が機動的に利用できるスマートフォンやスマートタブレットの上での不動産情報の提供を中小の不動産会社やスマートフォン・スマートタブレットユーザーを中心とした小口営業に注力してまいりました。しかしながら、広告事業におきましては営業リソースが不足していたこと、また当初想定していたビジネスサービス事業の伸びによるPV数(Webサイトの閲覧を計る指標)の向上を見込んだ広告媒体としてのジアースの価値の向上による広告件数の増加にも至っておりません。

広告事業においては、第4四半期の予想売上高11百万円を見込んでおりましたが、上記のことから売上の実績といたしましては1百万円にとどまりました。

以上のことから事業ごとに、今後の販売計画を精査したところ、広告事業におけるソフトウェア等の投資額が、同事業の将来の売上による回収可能性を検討した結果、231百万円の減損損失が発生するに至り、当期純利益につきましては、大幅に差異が発生することとなりました。

以 上